

平成 25 年度 第 1 回 豊田市廃棄物処理施設等審査会 次第

日 時：平成 26 年 3 月 13 日(木)

午後 1 時 30 分～

場 所：豊田市役所 環境センター 3 階
会議室 1

1 あいさつ

2 議 事

(1) 株相建の産業廃棄物処理施設変更許可申請の概要について

(2) その他

3 現地調査

(参照資料)

○株相建の産業廃棄物処理施設変更許可申請の概要

別紙 1 位置図

別紙 2 航空写真

別紙 3 計画平面図(変更前、変更後)

別紙 4 求積図(変更前、変更後)

別紙 5 構造図

別紙 6 現況断面図

●資料 1 産業廃棄物処理施設の設置に伴う生活環境影響調査の概要

○株相建の変更許可申請及び生活環境影響調査の写しを綴ったファイル

(株)相建の産業廃棄物処理施設変更許可申請の概要

1 申請者

- (1) 名 称 株式会社 相建
(2) 住 所 名古屋市東区東桜一丁目10番24号
(3) 代表者氏名 代表取締役 多田純二

2 施設の設置場所

- (1) 設置場所 豊田市篠原町石田刈21番ほか9筆
* 自社所有5筆のほかは借地
(2) 設 置 平成21年1月22日 (大矢開発(株)から譲受け)
* 大矢開発(株)は、平成8年10月2日設置許可、
平成10年4月埋立て開始

別紙参照 : 位置図
: 航空写真

3 産業廃棄物処理施設の種類

安定型最終処分場

4 処理する産業廃棄物の種類

ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)

5 変更の主な内容

	変更前	変更後
処理能力	埋立面積 : 4,899 m ² 埋立容量 : 39,961 m ³	埋立面積 : 7,894 m ² 埋立容量 : 74,615 m ³
位置、構造等の設置に関する計画	豊田市篠原町石田刈21番ほか10筆	豊田市篠原町石田刈21番ほか9筆 ・埋立区域の拡張及び嵩上げ

別紙参照 : 計画平面図(変更前、変更後)
: 求積図(変更前、変更後)
: 構造図

6 埋立容量の状況 (単位：m³)

年度	埋立量	廃棄物の内訳		
		ガラスくず及び陶磁器くず	がれき類	
H10～H19	2,031.5	不明	不明	
H20	423.0	55.0	368.0	*H21.3月変更届(軽微変更)
H21	3,640.7	822.6	2,818.1	埋立容量 36,329 m ³ → 39,961 m ³
H22	5,955.8	1,542.6	4,413.2	
H23	7,437.7	2,595.4	4,842.3	
H24	13,800.0	3,578.8	10,221.2	*H25.3月末の処分実績報告書
計	33,288.7	-	-	残余容量 = 6,672.3 m ³

☆H26.2月 現況測量を実施した結果報告 残余容量 = 6,649.25 m³
別紙参照 : 現況断面図

7 廃棄物の処理工程等

① 展開検査 → ② 転圧、敷き均し → ③ 覆土、転圧

8 施設変更許可申請に伴う生活環境影響調査の概要

資料1参照 : 産業廃棄物処理施設の設置に伴う生活環境影響調査の概要

9 他の法令に基づく手続

- (1) 砂防法 砂防指定地内行為許可 … 平成26年1月7日許可
- (2) 森林法 林地開発許可 … 変更申請手続中

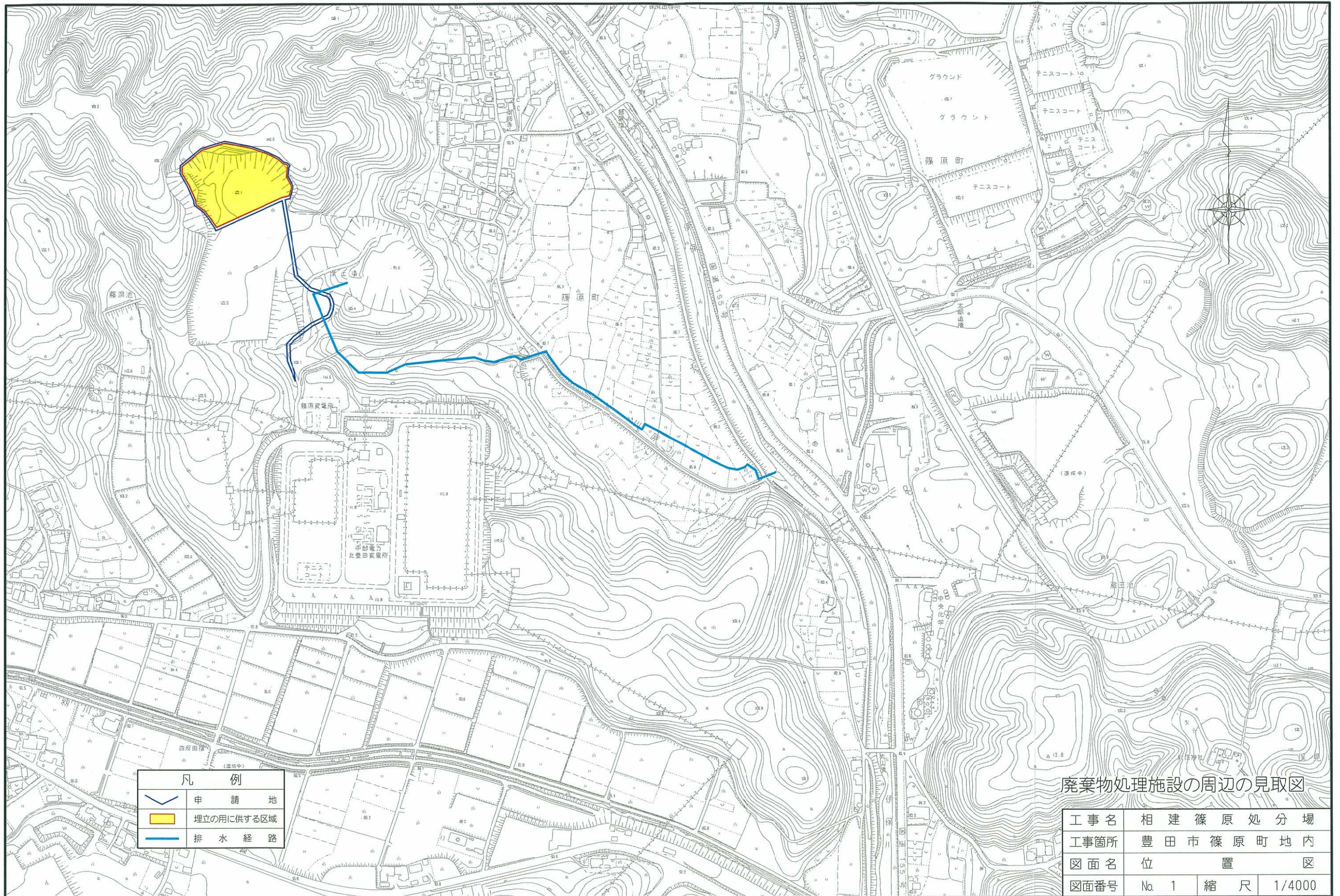
10 その他




●豊田市産業廃棄物の適正な処理の促進等に関する条例に基づく手続

事業計画等の縦覧	平成25年10月7日から11月5日までの縦覧実施。	意見書提出無し
説明会の開催	関係地域に対して事業者が平成25年10月26日に実施。	質問1件有り ・伊保川への水質影響は? → 影響無しと回答

●廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく手続

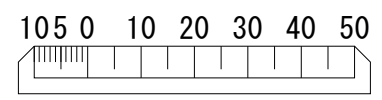
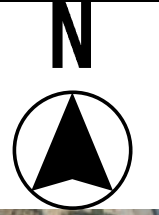
申請書等の縦覧	平成26年2月18日から3月18日までの縦覧実施中。
---------	----------------------------

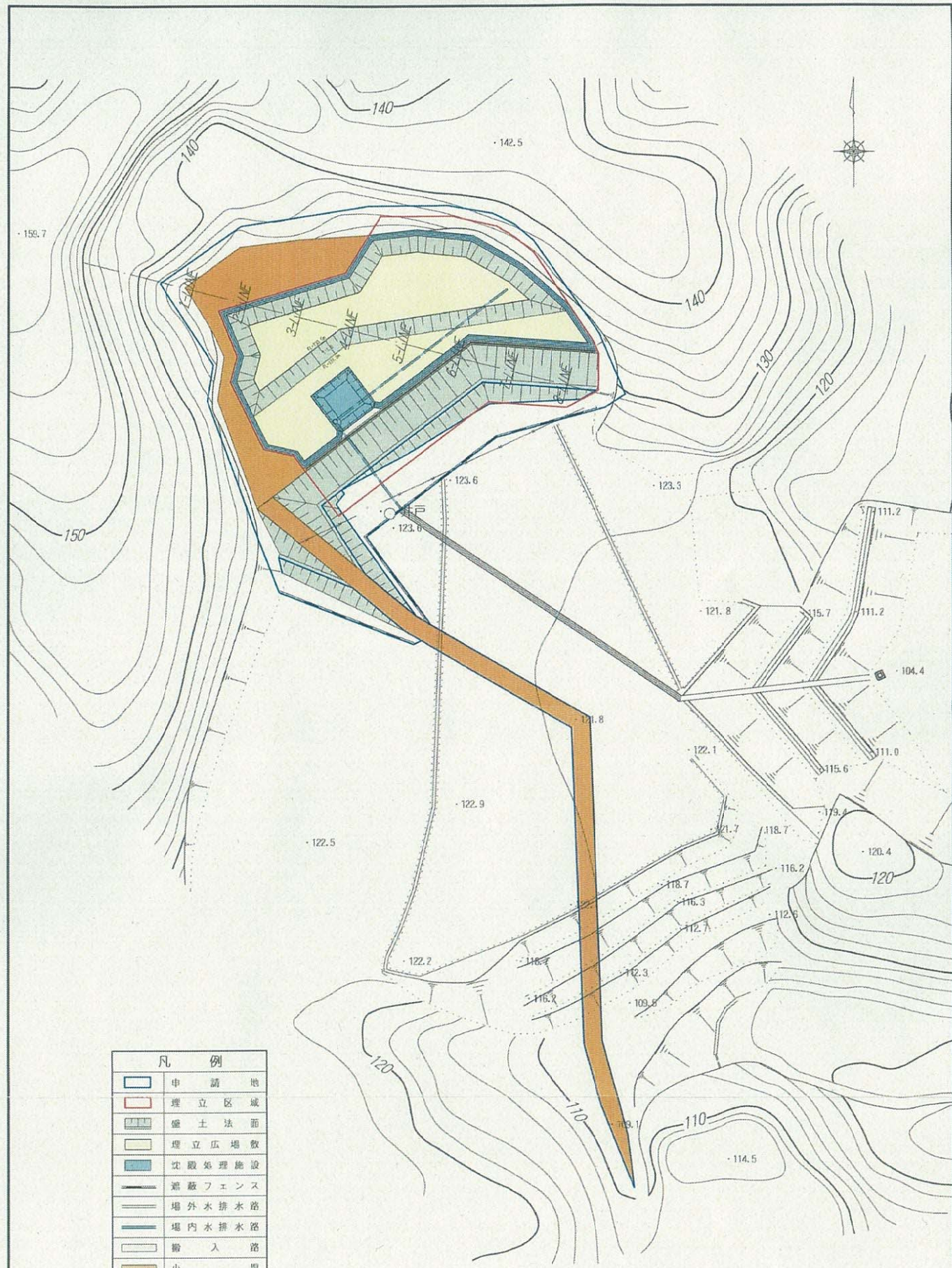


凡 例	
	申 請 地
	埋立の用に供する区域
	排 水 経 路

廃棄物処理施設の周辺の見取図

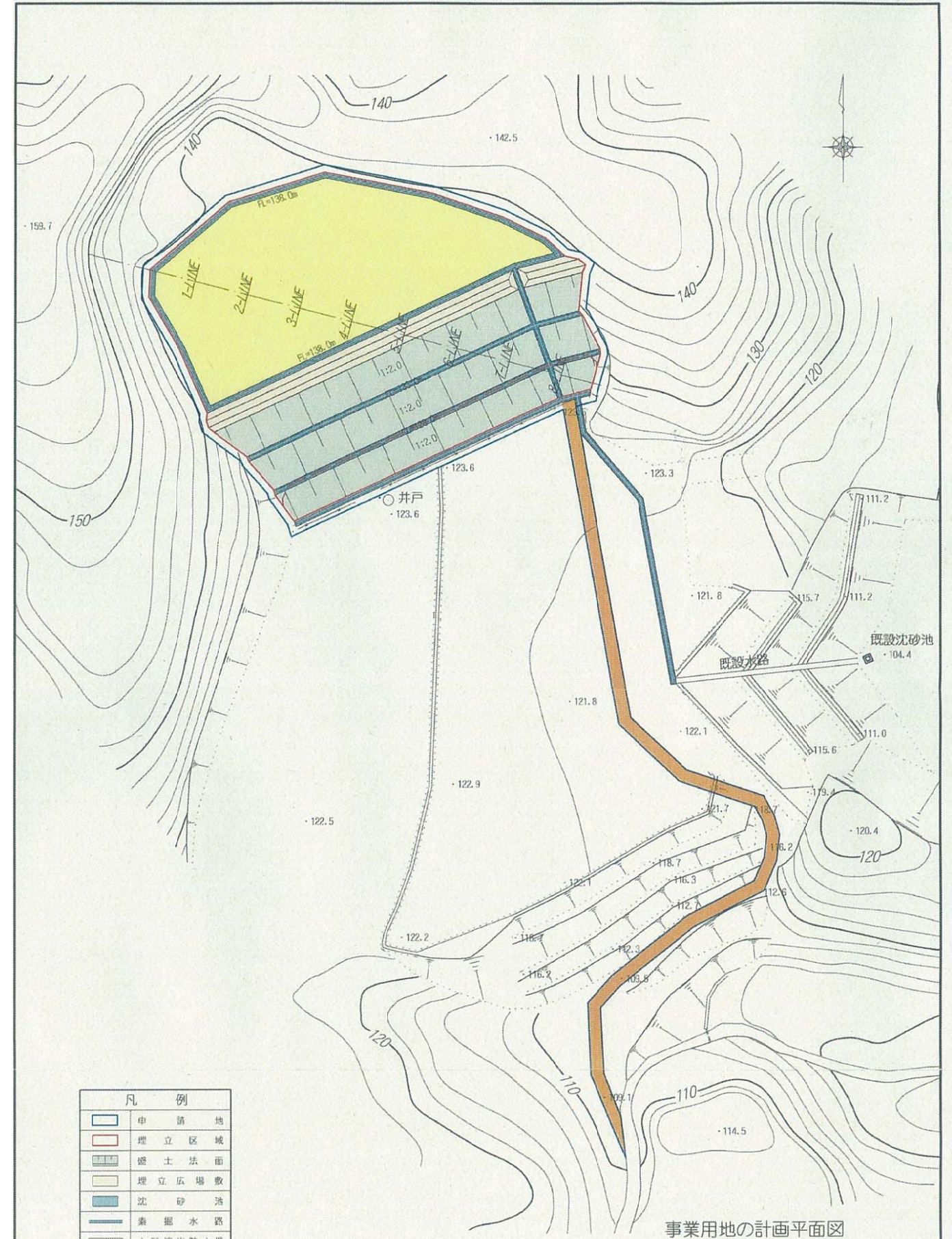
工事名	相建 篠原 処分場		
工事箇所	豊田市 篠原町 地内		
図面名	位 置 図		
図面番号	No. 1	縮 尺	1/4000





変更前

工事名	相建篠原処分場
工事箇所	豊田市篠原町地内
図面名	計画平面図
図面番号	No. 4

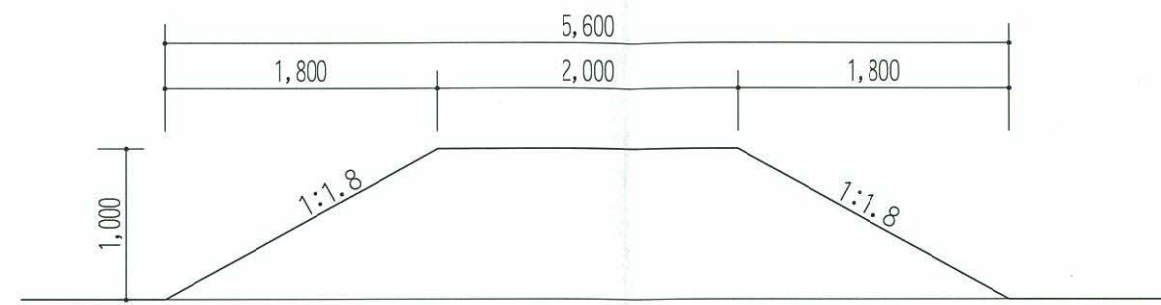


事業用地の計画平面図
廃棄物処理施設の平面図

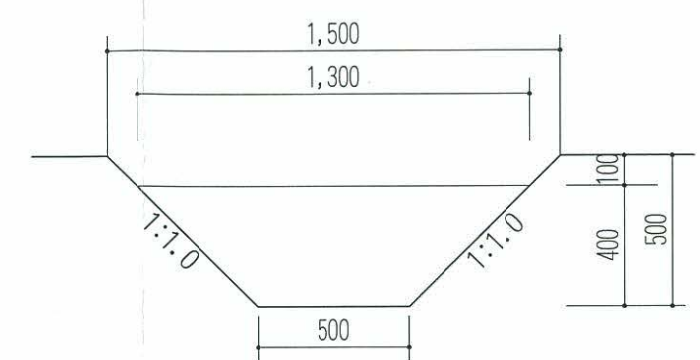
変更後

工事名	相建篠原処分場
工事箇所	豊田市篠原町地内
図面名	計画平面図
図面番号	No. 4

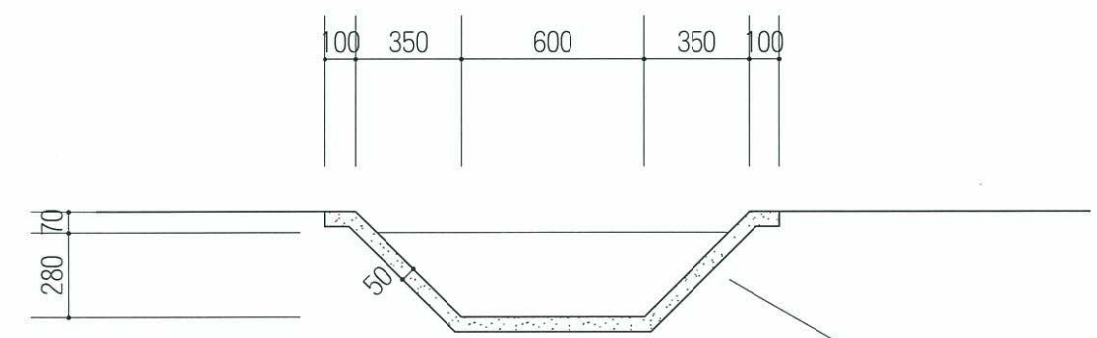
土砂流出防止堤構造図 縮尺1/50



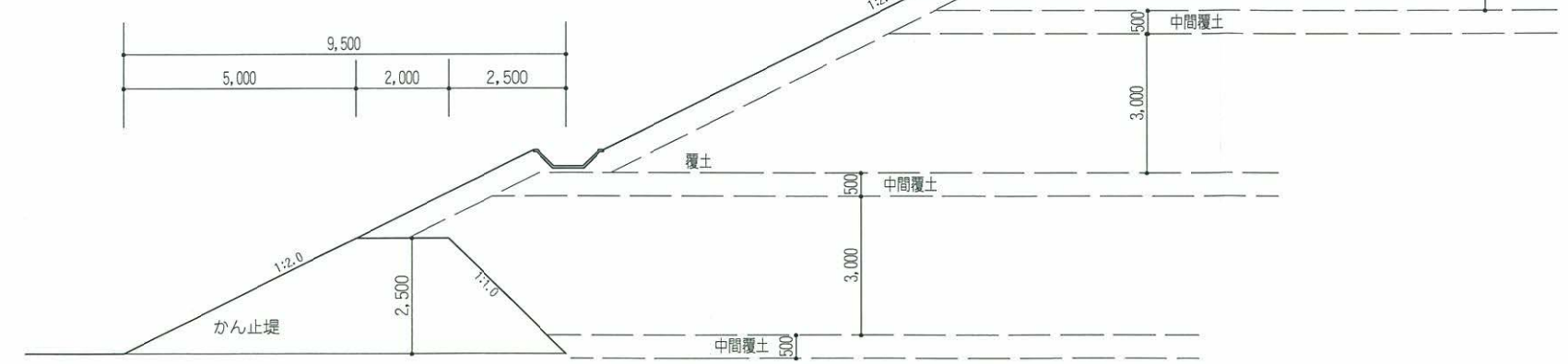
素掘水路構造図 縮尺1/25



ソイル側溝構造図 縮尺1/25



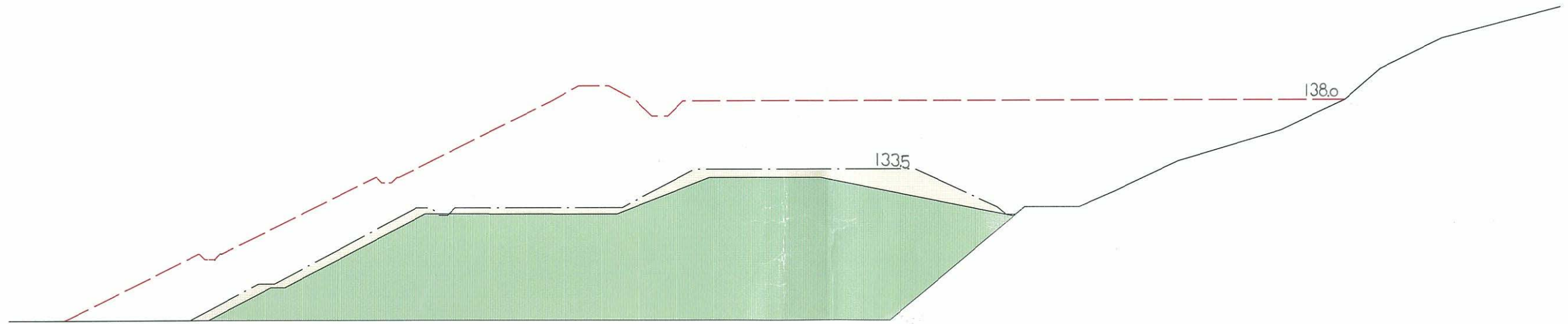
かん止堤構造図 縮尺1/150



廃棄物処理施設の構造図

工事名	相建篠原処分場		
工事箇所	豊田市篠原町地内		
図面名	構造図		
図面番号	No. 6	縮尺	1/1000

現況断面図 縮尺1/300



凡 例	
—	現 況 地 盤 高
- - -	変 更 後 許 可 区 域
■	変 更 前 埋 立 終 了 可 区 域
■	変 更 前 残 存 区 域

産業廃棄物処理施設の設置に伴う生活環境影響調査の概要

1 廃棄物処理施設の概要

施設の種類	安定型最終処分場
施設において処理する廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)
施設の処理能力	埋立面積： 4, 899 m ² → 7, 894 m ² 埋立容量： 39, 961 m ³ → 74, 615 m ³
施設の処理方式	水平堆積法による埋立
施設稼働計画	埋立作業日：5～6日/週 稼働時間：8～17時(操業日のみ) 使用重機：1台 搬入台数：平均8台/日(操業日のみ)
施設の構造、設備	土盛堰堤：高さ2.5m 外法勾配1:2.0 内法勾配1:1.0 囲い：高さ1.8m 延長91m 雨水排水路 延長384m

2 生活環境影響調査項目

「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」(平成18年9月 環境省)に基づき実施。

調査事項	生活環境影響要因		施設からの浸透水の流失または浸出液処理施設からの処理水の放流(陸上埋立)	最終処分場の存在(陸上埋立)	施設(浸出液処理設備)の稼働	埋立作業	施設(埋立地)からの悪臭発生	廃棄物運搬車両の走行
	生活環境	影響調査項目						
大気環境	大気質	粉じん				○		
		二酸化窒素(NO ₂)						—
		浮遊粒子状物質(SPM)						—
	騒音	騒音レベル				○		—
	振動	振動レベル				○		—
	悪臭	特定悪臭物質濃度または臭気指数(臭気濃度)						
水環境	水質	生物化学的酸素要求量(BOD)	○注1					
		化学的酸素要求量(COD)注2	—					
		ダイオキシン類						
		浮遊物質(SS)	○注1					
	地下水	地下水の流れ		—				

※凡例 ○：調査・予測・評価を行う項目 ー：調査対象から除外した項目 空白：調査を実施しない項目

注1) 安定型最終処分場については、浸透水が表流水系に放流される場合に限る。

注2) 化学的酸素要求量(COD)を含む浸出液処理水を、調査対象地域の水域に放流する場合、またはCODを含む浸透水が調査対象地域の水域に放流される場合には、CODを調査項目として取り上げる。

3 生活環境影響調査の結果

(1) 大気質

ア 測定地点

既存資料調査より、H24年4月における最多風向が北寄りであることと直近の民家までの距離、現地設置条件(電源位置)等を勘案して変更計画地南側にあたる倉庫横で設定。

イ 粉じん濃度測定、風速階級別出現頻度の調査結果

粉じん濃度測定結果と風速階級別出現頻度調査結果は表1、2のとおり

表1：粉じん濃度測定結果（平成25年）

測定日	測定結果 (mg/m ³)	廃棄物搬入台数	規制基準
4月18日(木)	0.16	10t車 9台	・粉じん濃度には基準値等の定めはない。 〈参考〉 ・浮遊粒子状物質(SPM)に定められた1時間値の環境基準値は0.2 mg/m ³ 以下
4月19日(金)	0.19	10t車 3台	
4月20日(土)	0.16	10t車 1台	
4月21日(日)	0.02	0台	
4月22日(月)	0.05	4t車 1台	
4月23日(火)	0.09	4t車 1台	
4月24日(水)	0.02	0台	

表2：地上1mでの風速階級別出現頻度調査結果（平成25年4月18～24日）

風速階級 (m/s)	0.4以下	0.5～0.9	1.0～1.9	2.0～2.9	3.0～3.9	4.0～4.9	5.0以上
出現頻度 (%)	43.5	35.7	16.1	4.8	0.0	0.0	0.0

ウ 予測結果及び評価

「風害と防風施設」(文英堂出版)によると土壌粒子の飛散する程度は、風速及び土壌の付着水分量によって異なるが、乾燥土壌では地上1mの風速が4～5 m/sで転動、5～6 m/sで跳躍、6～7 m/sで浮遊を開始するとされている。また、ビューフォートの風力階級表によると風力階級が4以上(風速5.5 m/s以上)になると砂ぼこりが立つとされている。H24年における最大風速観測状況から換算すると粉じんの飛散が発生する可能性のある風速(5.0 m/s以上)となるのは、年間を通じて14日程度となる。また、現地調査で得られた粉じん濃度は、総粉じんの結果であるが、浮遊粒子状物質(SPM)に対して定められている環境基準値からも下回る結果であった。

これらのことから、計画施設稼働による粉じんが周辺地域の生活環境に著しい影響を及ぼさないと評価する。

(2) 騒音

ア 調査地点

変更計画地敷地境界付近 3 地点を設定。

イ 予測条件

埋立作業を予測地点寄りで作業を行った際に与える影響がどの程度か把握するものとした。

ウ 予測結果及び評価

寄与騒音レベルと将来騒音レベルの予測結果は表 3 のとおり。

騒音レベルは全ての地点で規制基準値を満足するものと予測された。また、直近民家地点でも環境基準値を満足するものと予測された。変更計画地周辺は、将来的にも生活保全対象となる建物等が建設できる地形を呈していない。

計画施設稼働による騒音が周辺地域の生活環境に与える影響は軽微であると評価する。

表 3：寄与騒音レベルと将来騒音レベルの予測結果

単位：dB

予測地点	寄与騒音レベル	現況騒音レベル(暗騒音)	将来騒音レベル	規制基準	発生源からの距離
直近民家	51.2(Leq)	51(Leq)	54.1(Leq)	55(Leq)以下 (環境基本法による環境基準値)	135m
No.1	75.5(L5)	43(L5)	75.5(L5)	85(L5)以下 (騒音規制法による騒音規制値)	15 m
No.2	69.4(L5)	47(L5)	69.4(L5)		30 m
No.3	65.9(L5)	45(L5)	65.9(L5)		45 m

(3) 振動

ア 調査地点

変更計画地敷地境界付近 3 地点を設定。

イ 予測条件

現地調査時に測定地点の近くで埋立作業が行われていたNo.2 地点で得られた振動レベルの内、L10 の最大値から予測計算を行った。

ウ 予測結果及び評価

寄与振動レベルと将来振動レベルの予測結果は表 4 のとおり。

振動レベルは全ての地点で規制基準値を満足するものと予測された。また、予測された将来振動レベルも現地調査で得られた振動レベルも、人が振動を感じることができるといわれる 55 dB を下回っており、計画施設稼働による振動が周辺地域の生活環境に与える影響は軽微なものであると評価する。

表 4：寄与振動レベルと将来振動レベルの予測結果

単位：dB

予測地点	寄与振動レベル	現況振動レベル	将来振動レベル	規制基準	発生源からの距離
No.1	42.4	30	42.6	85 以下 (振動規制法による規制値)	15 m
No.2	38.0	30	38.7		30 m
No.3	35.0	30	36.2		45 m

(4) 水質

ア 予測地点

水質の影響が大きくなると想定される変更計画地周辺として設定。

イ 予測手法

埋立方法、埋め立てる廃棄物の種類に変更は無いことから計画施設の稼働による水質の変化は無いと考えられるため、現地調査や既存資料調査で得られた水質結果を基に予測。

ウ 予測結果及び評価

周縁地下水分析結果と浸出水分析結果は表 5、6 のとおり。

既存資料調査及び現地調査の結果、変更計画地周縁の地下水は、上流・下流とも全ての項目で環境基準を下回っていた。浸出水のBODも基準値未満であった。

これらの結果より、変更計画地における地下水等の水質の状況は、環境基準等を超過することなく良好な状況が保たれているといえる。変更計画により、埋め立てられる廃棄物に変更は無い。計画施設稼働による水質変化の可能性は低いため、周辺地域の生活環境に著しい影響は及ぼさないと評価する。

表 5：周縁地下水分析結果

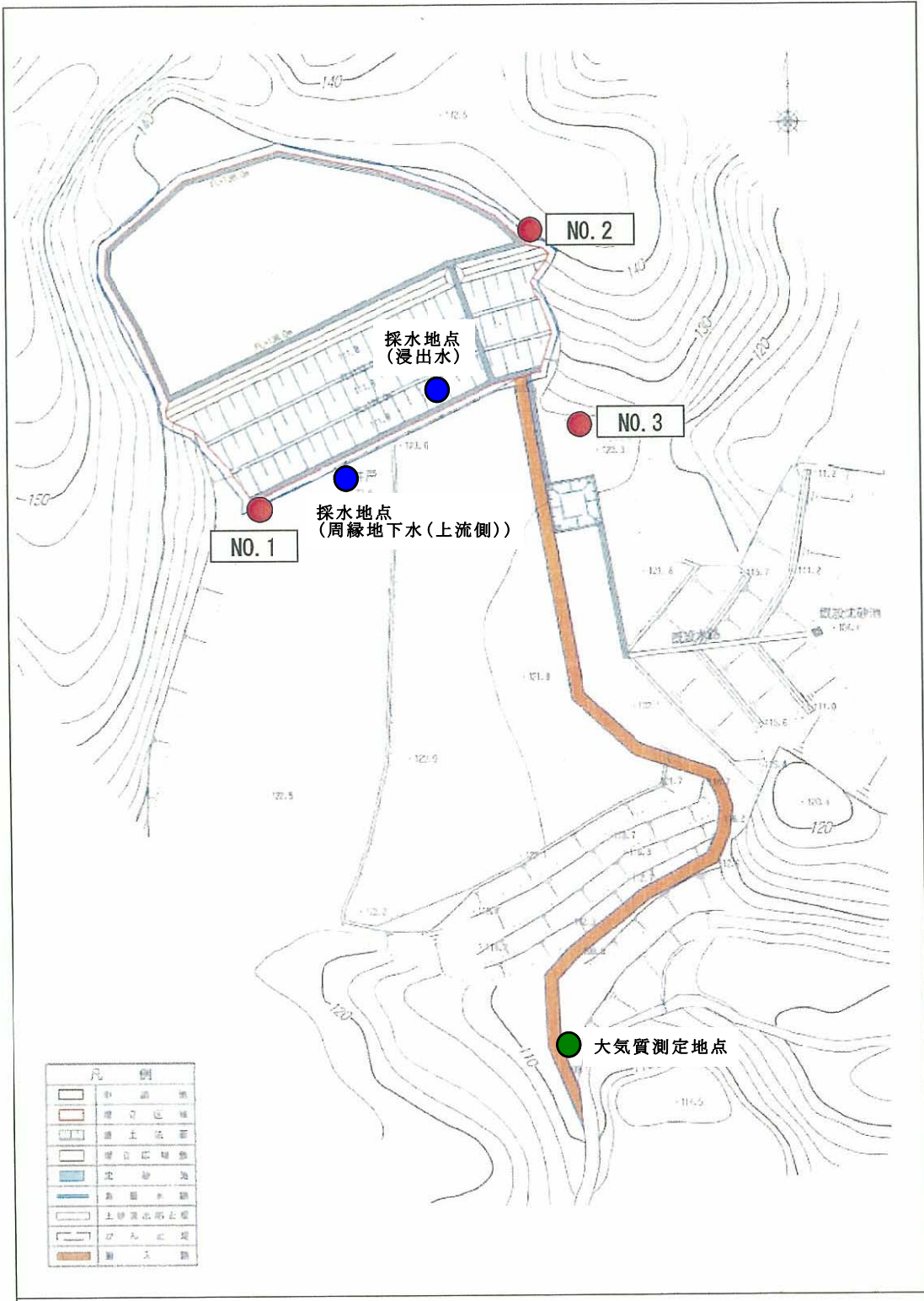
単位:mg/L

分析項目	環境基準	上流	下流
カドミウム	0.01mg/L以下	<0.0003	<0.0003
全シアン	検出されないこと。	不検出	不検出
鉛	0.01mg/L以下	<0.005	<0.005
六価クロム	0.05mg/L以下	<0.01	<0.01
砒素	0.01mg/L以下	<0.005	<0.005
総水銀	0.0005mg/L以下	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	検出されないこと。	不検出	不検出
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	不検出	不検出
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002
四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002
チウラム	0.06mg/L以下	<0.0006	<0.0006
シマジン	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002
ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001
セレン	0.01mg/L以下	<0.002	<0.002
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	<0.005	<0.005

表 6：浸出水分析結果

単位:mg/L

分析項目	結果	基準値
BOD	3.0	20 以下
SS	4.0	—



● : 騒音振動測定地点

測定地点位置図



- : 計画地
- : 採水地点(周縁地下水(下流側))



※国土地理院 基盤位置図情報より作成

採水地点位置図(周縁地下水(下流側))